

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	朝霞市立朝霞第一小学校 令和8年度第2回学校運営協議会	
開催日時	令和8年6月6日（土） 午前8時50分から午前11時00分まで	
開催場所	朝霞市膝折町4-11-7 朝霞第一小学校 北校舎2階 なでしこ会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	出席者 朝霞第一小学校 校長 小林 美加 朝霞第一小学校 教頭 加藤 淳子 朝霞第一小学校 PTA 会長 太田 剛 膝折宿町内会副会長 大橋 千栄子（副委員長） 地域有識者・企業経営者 梶本 尚樹 朝霞第一小学校 学校応援団 石丸 梢 朝霞市南西地区民生委員児童委員 藤田 康枝 元朝霞市副市長 關野 武男 元朝霞第四小学校 校長 内田 隆（委員長） 菩提樹の森幼稚園 園長 佐藤 順與 欠席者 なし	
議題	1 学校長あいさつ 2 授業参観 3 学校経営について（学校評価についても含む） 4 協議及び懇談 5 その他	
会議資料	・次第 ・学校だより6月号	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 校長による確認		
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【審議概要】

1、学校長あいさつ

- ・小林 美加 校長あいさつ

2、授業参観

- ・各クラスの授業の様子を参観

3、学校経営について

(校長) 落ち着いて勉強に取り組んでいる。体力テストで、学年を超えてサポートする様子が見られて微笑ましかった。この約2ヶ月間、たくさんの方々にご支援いただき、一小が地域の方々に恵まれていることを感じている。児童の課題である言葉づかいについて、お話朝会で、金子みすずさんの「こだまでしょうか」を紹介し、使っている言葉を振り返ることができるような講話を行った。大変静かに子供たちが聞いてくれていた。あいさつに関しても、朝、順番に門に立っていて、まだまだ、と思う部分はあるが、あいさつの意味についても引き続き、児童・教職員に浸透させていきたい。先日、近隣の方からうれしい電話を頂いた。朝の出勤中に一時停止で止まっていた時に、通学班の子供たちが「おはようございます。」「ありがとうございます。」と声をかけてくれたことをうれしく感じたということだった。今後も、みんなが幸せになる学校づくりをしていきたい。

4、協議及び懇談

(内田) 授業を見ての感想・教育活動についてのご意見を頂きたい。

(關野) 参観者の多いことに驚いた。関心が高いご両親が多いと感じた。6年生は学級の活気があった。低学年も落ち着いて座って聞いていた。「新しい公園の計画」を授業していたクラスが大変興味深かった。

(橋本) 全員参加型の授業が多かった。百人一首の取組もよかった。他のクラスでも一緒に声を出して参加していたところがよい。不登校の児童の実態を教えていただきたい。また、言葉づかいは大変重要だと感じ、良い方向に物事を考えられる子につながっていく。言葉づかいもルーティーンになっていくとよいと思う。継続的に教職員や児童に伝えていっていただきたい。

(大橋) 教え方の以前との違いを感じた。丁寧に漢字の書き順を指導していた。あいさつについては、膝折門に1学期に1回、見守りをした時に、あいさつをしてもらうととてもうれしく思っていた。いい子や元気な子が多いことをうれしく思う。

(佐藤) 普段幼児を見ているが、小学校は、劇的に体も変わる中で学んでいる状況下での難しさと大切さを感じた。専門性の高さの必要性を大人が認識しないといけなことも感じた。保護者・地域・行政の人にも見に来てもらい、小学校教育の大切さを感じて欲しい。

(橋本) 少し、暑いと言っている保護者もいたが、エアコン関係についてはどういう風になっているのか。

(校長) 暑い日は、エアコンをつけるようにしている。

(内田) 1年生の教室前に踏み台があったが、今までもあったかどうか。トイレも気になっており、去年ずいぶんきれいになったと感じたが、清掃用具の管理について、どうするのか、検討が必要。モップも汚れてしまうし、買い替えも難しいと思う。その中できれいに整備されていると感じている。

(校長) 登校に不安を抱えている子に対しては、無理なくつながりを作りながら継続し

て連絡を取り合っている状況。

(關野) 外国籍の児童が増えているが、その対応はどうなっているか。

(校長) 保護者との連携ができている状態である。言葉の習得も進んでいる状況。

(内田) 子供は順応が早いと思うが、その子の適応段階に応じて、学年を落とすケースもある。

(校長) 行動面・学力面の配慮も必要なケースがある。保護者に伝わりづらいケースもある。

(佐藤) 幼稚園は療育につながるように働きかける。小学校はあるのだろうか。

(校長) 放課後の療育、スクールカウンセラーなどにつなぐような検討をしている。

(橋本) いろいろな感じ方の保護者がいる。PTA会長より、親御さん向けに周知は難しいか。以前、保護者にキッズコーチングの働きかけをしたがどうか。

(太田) 4年前ぐらいまでは保護者向けの勉強会を実施していたが、参加者が少ないこともあり、実施をやめてしまった。

(校長) 担任、学年、管理職の順番で保護者の方と話をしていくしかないと思っている。

(橋本) 授業参観を使って、こちらの思いを伝えられる機会を作るとよいのではないか。

(校長) 文科より、学校がすべきこと、そうではないことを分けたものを出している。スクールロイヤー（弁護士）に相談することもある。

(太田) 今は、先生が厳しいことに対して疑問をもつ保護者もいる。他クラスと比べて見ている部分もあるかもしれない。

(校長) 子供たちへの指導の仕方についても教職員研修をしていくが、いろいろな先生がいることも理解して、よいところも見えていただきたい。

(藤田) 先生の厳しさの良し悪しについて言われたときには。

(石丸) まず、親が子供と解決しようとしなければならないのでは。

(藤田) 子供が置いていかれているのでは。親がエスカレートすると、子供が教室にしばらくなくなるのでは。

(石丸) 中学校では、違う学校の生徒もいる。全部すぐに学校に訴えることで、事実と話が変わってきてしまうこともあるのではないか。

(校長) 保護者が守りに入ることで、子供の成長を奪っている側面もあるのではないか。もちろん教職員も学んでいかななくてはならない。

(石丸) 学校内部だけではなくて、保護者も一緒に考えていくべき。

(橋本) キッズコーチングの話によると、相手と過去は変えられない。自分の選択しか変えられない。感情的になってしまうと良くないので、自分で選択することができるようになれば、変わっていくのかもしれない。

(校長) まずは子供たちが楽しく通うことができることを一番に考えて進めていく。

(太田) 保護者と教職員の接点も重要。

(橋本) 一生懸命教えている先生を見ると、また気持ちが変わってくる。学校公開も2回くらいやるといいかもしれない。

(内田) 保護者会も全体的に減っている傾向がある。

(太田) 懇談会も先生と対話することができるような懇談会がよいのではないか。

(校長) 何かしら、保護者との関わりができるような方法を校長より提示したので、実施した学年もある。これからも投げかけていきたい。

(太田) レクも行き過ぎると、懇談会にもかえって足が向かなくなる保護者もいるので、うまい形でできるとよい。

(大橋) 13日にパトロールについての話があるが、どうしていくとよいか。

(藤田) 会長さんより具体的な話をもらった方がよいかという話も出ている。

(太田) 夕焼けチャイムを目安に回ってもらえるとよい。

(大橋) すぐお近くの年配の方が掃き掃除をしてくれている。お礼を伝えたが、名前までは聞けなかった。掃き掃除をして受賞された人もいるのを見たことがある。その方がそれを目的としているわけではないのは感じているが、感謝の気持ちを伝えたい。

(太田) ごみ袋何袋にもなるくらいやったださっている。

(藤田) 10時前後だと思う。

(内田) 台風があったので、避難所の設置があるかもしれないことが大変だと思う。

(橋本) ネットで見ても水位が確認できる。上流なので。

5、その他

(關野) SWNA (朝霞・和光・志木・新座) に各教育長のインタビュー記事が出ている。市民センターや公民館に配付されているのでご覧になっていただきたい。和光市はコミュニティスクールについて触れている。

(教頭) 今後の予定について。